

牛久市教育委員会 10月臨時会会議録

1. 日 時 平成28年10月7日(金) 午前10時
2. 場 所 市役所本庁舎4階 第4会議室
3. 出席委員 染谷 郁夫・石井 美知夫・芦田 亜里香・五十嵐 登喜子
4. 委員以外の出席者

| | | |
|---------|-------|--------|
| 次長 | 石神 良三 | 飯野 喜行 |
| 次長 | | 杉本 和也 |
| 指導課 | 課長 | 村松 美一 |
| 放課後対策課 | 課長 | 吉田 茂男 |
| 文化芸術課 | 課長 | 手賀 幸雄 |
| 生涯学習推進室 | 室長 | 横瀬 幸子 |
| 中央図書館 | 館長 | 関 達彦 |
| スポーツ推進課 | 課長 | 齋藤 勇 |
| 教育総務課 | 課長 | 川真田 英行 |
| 教育総務課 | 課長補佐 | 戸塚 美幸 |
| 教育総務課 | 課長補佐 | 富田 真幸 |
| 教育総務課 | 課長補佐 | 森田 明 |
| 教育総務課 | 課長補佐 | 高野 裕行 |
| 指導課 | 課長補佐 | 山口 明 |
| 文化芸術課 | 課長補佐 | 永沼 智子 |
| 生涯学習推進室 | 室長補佐 | 山越 義弘 |
| スポーツ推進課 | 課長補佐 | 飯島 美博 |
| スポーツ推進課 | 課長補佐 | 高橋 頼輝 |
5. 欠席者

| | | |
|-------|---------|-------|
| 委員 | 後藤 雅宣 | |
| 教育部長 | 川井 聡 | |
| 教育総務課 | 学校建設対策監 | 佐藤 孝司 |
6. 会議録署名人 芦田 亜里香
7. 報告事項 報告第15号 教育委員会の新制度への移行について
報告第16号 牛久市立幼稚園運営協議会答申について
8. 協議事項 プールの改修について

| | |
|-----|---|
| 教育長 | (あ い さ つ) 開会を宣言する。 会議録署名人 芦田 亜里香 委員を指名する。 |
|-----|---|

| | |
|--------|--|
| 教育長 | <p>それでは、報告第15号「教育委員会の新制度への移行について」、事務局より説明をお願いいたします。</p> |
| 教育総務課長 | <p>報告15号についてご説明申し上げます。教育長の新しい任期の開始に伴いまして新制度への移行となり、資料の2枚目にあります通知のとおり、茨城県教育委員会及び関係各機関に通知いたしましたことを報告いたします。</p> |
| 教育長 | <p>新制度になりましたので、私は任期が3年、それからほかの教育委員の皆さんは4年というような形になっていたと思います。ここで、石井委員も新しく再任されましたので、ここで石井委員に改めて教育長職務代理者ということをお願いしたいと思っております。皆さんよろしく申し上げます。</p> <p>それでは、報告第16号「牛久市立幼稚園運営協議会答申について」、事務局より説明をお願いします。</p> |
| 教育総務課長 | <p>報告16号「牛久市立幼稚園運営協議会答申について」ご報告させていただきます。答申につきましては、昨年12月に第1回の協議会を開催していただきましてから年度をまたいで計6回御審議をいただきました。このたび、最終答申ということでまとめていただきました。本日は、牛久市立幼稚園運営協議会石神良三会長にお越しいただいておりますので、この場で答申文をお読みいただきまして、答申文を教育長にお渡ししたいと存じます。</p> <p>それでは、石神会長着席のまま結構ですので、答申文の朗読をお願いいたします。</p> |
| 石神会長 | <p>諮問事項公立幼稚園のあり方についてという中で、項目1と2という2つの項目で諮問をいただいたのですけれども、項目1の牛久市立第一幼稚園の運営については、3月16日に中間答申という形で答申をさせていただきました。今回は、第2点であります、牛久市における公立幼稚園のあり方について答申をさせていただきたいと思っております。</p> <p>全文読み上げさせていただきたいと思っております。</p> <p>平成27年10月7日 牛久市教育委員会教育長染谷郁夫殿 牛久市立幼稚園運営協議会会長石神良三</p> <p>平成27年12月14日諮問第5号により牛久市教育委員会より諮問のあった事項について、以下のとおり答申をいたします。</p> |

牛久市立幼稚園運営協議会答申書

(前文)

幼児期における質の高い教育は、低所得者の創出を防ぎ、貧困の連鎖の解消、犯罪の減少、地域社会の発展のために有効であることは学術的な調査報告で示されています。国においても教育振興基本計画の中で幼児期の大切さと幼児教育充実の重要性が示され、県においても本年度策定された「いばらき教育プラン」の中で就学前教育が最重点のテーマとして盛り込まれたところです。

牛久市においては、幼児教育の重要性を認識し、県内でも幼保小連携に早くから取り組んできたことは高く評価されることです。

牛久市立幼稚園は、全ての幼児に幼児教育の機会を提供する重要な役割を担うとともに、市内の幼稚園や保育園に対する研修の機会を提供し、また、家庭の教育力向上や保護者に対する相談、講座の企画その他の子育て支援を促進する役割として牛久市の関係部署と密接に連携しながら幼児教育をしっかりと支え、小学校、中学校の教育へとつなげていく重要な役割を果たさなければならないと考えます。

以上のことから、牛久市における公立幼稚園のあり方について次のとおり答申いたします。

(答申)

公立幼稚園は全ての幼児に幼児教育の機会を提供するとともに、幼稚園保育園の質の向上のための研修機関、保護者に対する子育て支援機関としての役割を果たすことが期待されている。

以上のことから公立幼稚園のあり方としては、
公立幼稚園は、

- ・経済的貧困家庭の子供や障害児などを含めた全ての幼児に教育の機会を提供する最後の砦である。
- ・地域の核となり地域社会の教育力向上を目指す。
- ・若い世代に向け子育て論や子供を育てる楽しさと意義を伝える。
- ・一つに秀でた教育ではなく総合的な教育を広げていく。
- ・幼保小のギャップ（小1ギャップ）をなだらかにし、確かな学力の向上につなげる。
- ・公立幼稚園の指導技術を私立幼稚園や保育園に発信する。

これらを踏まえ、公立幼稚園は現状の2園体制を維持しながら、与えられた役割を果たすために今後も存続し続ける必要がある。

また、第一幼稚園については、ひたち野うしく地区またはその周辺部に整備する必要がある。

なお、公立幼稚園の存続にあたっては、低所得者に配慮しつつも安定的な運営基盤を確保するため授業料の見直しは必要との意見が複数の委員から出され

| | |
|---------------|--|
| <p>教育総務課長</p> | <p>たことを申し添える。 以上でございます。</p> <p>石上会長が染谷教育長に答申書を手渡す。</p> <p>ただいまの最終答申のご報告案件に関連いたしまして、協議会で話し合われた内容について少しご説明させていただきたいと思います。公立幼稚園のあり方についてという内容については、答申文に書かれたとおりですので、それ以外の部分ということで少しご説明させていただきたいと思います。お手元に資料のほうで会議録のほうをつけておりますが、これも最終回の会議録になります。答申案分についての議論をある程度していただいた後に、私のほうから答申とは別にあくまでも参考意見ということで、今第一幼稚園の今後建設関係で場所をどうするかということになってくるかと思います。そのあたりについて、あくまで参考意見ということでいただければということでご意見をいただいた部分がございます。</p> <p>3ページの下のほうから始まりまして、それ以降になるのですが少しご紹介させていただきます。まず、5ページ目の中段になります。3人目の発言のところになりますが、これはPTAから選出されている役員の方です。ご説明させていただきます。</p> <p>保護者の間でのやりとりということでの情報なのですが、第一幼稚園が中根小の敷地内で存続するということが難しいということが最初に出たときに、やはり保護者の中からはかなり反発が出て、この中に残してほしいという意見が出たということは確かである。ただ、それから長いやりとりを経た中で保護者同士も情報交換をする中で、やはり中根小のその現実的なものを見ると、このままここに存続していくということは難しいということは、皆さんある程度把握してきているという状況だそうです。ただ、定位置を持たずに仮住まいで来年はどうなるのか、再来年はどうなるのかというような状態というのはやはり不安があり、保護者にとって厳しいという。やはり長い目で見て安心して預けられる場所というものを確保してほしいというご意見が一つございました。</p> <p>次に、その下のご意見です。これもPTAの方からのご意見になります。</p> <p>やはり、ひたち野うしく小に隣接した土地ということで考えた場合に、その場所はよいと思うという。中学校の予定地を利用することで、もし中学校が一杯になった場合に、またそこから動かなければならないというようなことがあると困るということで、先ほどの一人目のPTAの委員と同じような意見です。</p> <p>また、付随して今岡田小のほうにある古い園舎につきましては、そのままにしておかずに対策をとってほしいという意見がつけ加えられました。</p> <p>3点目のご意見ですが、これは学識経験者の委員のご意見になります。幼小中の一貫教育をするということで市の方で打ち立ててもらえば、たとえその中</p> |
|---------------|--|

学校の人数が多くなっても幼小中一貫校としてつくった幼稚園をそこから外すという話にはならないのではないかとということで、やはり同じエリアに幼小中が公立のものとして存在するという形は、意外と珍しいという話であると思うとのことです。大きな土地に幼小中が同じ学区の子供たちが集まっているというそのメリットを最大限に生かすことがセンター的な機能、これはかねてより議論してきました、幼児教育センターが必要だという議論がされてきましたが、そういった機能をより発揮しやすくなる物理的な条件であるというふうに考えているという。今後長い目で見たときに、今の幼稚園が2年間、小学校が6年間、中学校が3年間という枠組みですら10年、20年のスパンで見たときは変わってくる可能性もあるのではないかと。また、幼児教育が仮に義務教育化等の方向になったときには、幼稚園をそのエリアに建てておくということは非常に運営がやりやすくなる。集められるのであれば、先駆的な実践をするモデル地域として幼小中の連携を図るエリアを牛久市としてつくるという指針を出してもらうことがよいのではないかとのご意見がございました。

その次のご意見ですが、こちらは割と特別支援関係とかそういったことに詳しい委員でございます。いろいろな方が通うということで、どうしても自力通園で通いたいけれども通えないという交通弱者の家庭的な問題もあるでしょうということで、交通便の使いやすさということも一緒に検討していただきたいということだそうです。その意味からすると、ひたち野の土地については、ひたち野うしく駅まで公共交通機関で来て徒歩で通うことももしかしたら可能かなというような観点でのご意見だったかと思えます。

もう一人の委員ですが、そのページの一番下になりますが、やはり広い土地を購入したということであれば、そこで長く腰を据えて教育ができるかと思えますし、場所的にも整備されたところなので使い勝手もよいかと思うということで、ほかの岡田小の隣接地もしくは中根小の現状の場所ということと比較した場合、やはりそこに移転することが自然でよいのではないかとのご意見をいただいております。

以上、今後第一幼稚園を建てていくに当たって、候補地について参考意見ということで協議会のほうでご議論いただいた内容になります。ご報告させていただきます。

今、協議の内容は報告いただきました。今の答申書を見ると、答申書の最後のほうに私たちが決めなくてはならないものとして、一つは幼稚園をどこに建設するかということで市と協議していく。それから、公立幼稚園の授業料の見直しという答申もいただきました。授業料の見直しというのは、追って検討していくにしても、幼稚園の場所をどこにつくるかということは今、中学校の用地購入がされ、今後設計ということに入っていきますので、早目に決定して、もしその土地につくっていただきたいという要望をするのであれば、ここで結

教育長

| | |
|---------|--|
| | <p>論をしていきたいと思っております。今日とそれから次の教育委員会議あたり2回を使って、場所だけでも決定していきたいと思っています。きょうの時点で何かご意見ありますでしょうか。</p> |
| 石井職務代理者 | <p>今現在、現地においてはひたち野うしく小学校の隣接地においては土壌調査をしているということもありまして、その結果も踏まえながらということにはなりますが、今回の答申あるいは参考意見を踏まえると、場所についてはやはりあの場所が適地ではないかなというのが個人的な意見です。なので、危険性がないというか安全であるということが確認できれば、そういった形で話を進めていただけるのがありがたいのかなと思います。</p> |
| 五十嵐委員 | <p>あそこにもし、地域自治会館みたいなのを建設とかという要望や、それもつくってもそれだけ場所的に余裕というのはどうなのですか。中学校をつくって、そのほかに公民館みたいなものもという話もあったと思うのですが、それをそこに持っていってもスペースは大丈夫ですか。</p> |
| 教育総務課長 | <p>その件については協議会でもちょっと私も聞かれたのですが、一応今、先日基本設計のプロポーザルを行った中に、仮に幼稚園を配置した場合ということも含めて各社から案をいただいて、十分に配置できるという考えを持っております。</p> |
| 教育長 | <p>つまり、コミュニティーのスペースを前もってその土地のどこかにつくるといよりは、学校そのものの中にそういうスペースをつくった設計をしようという考えだと思いますので、中学校の建物そのものの中にそういうふうな将来的なものも考えて設計しているのですね。</p> |
| 教育総務課長 | <p>そういう意味合いだと思います。</p> |
| 教育長 | <p>もし、幼稚園つくるとしたら、それとは別のその敷地のどこかに置きましょうということですね。</p> |
| 芦田委員 | <p>先日、その土壌調査のほうに伺わせていただいて、初めてあの敷地の中に足</p> |

| | |
|---------------|--|
| | <p>を踏み入れたのですが、すぐ近所に住んでいますので、その塀の外から見ているものとはまた違った感覚で拝見することができたのですけれども、あの土地の形は割とちょっといびつなのです。お話しを伺っていると、やっぱり四角四面の土地でないだけに非常にその配置的なこととか、それも無駄ができてしまうという言い方は変なのですが、きちんと収まるべきところに収めるには結構難しいところもあるという。こういうことを進めていくにあたっては、やっぱりこうなったらいいなというメリット点だけではなくてデメリットな部分を重視して考えていかなければいけないのではないかなと思います。</p> <p>例えば、中学校の敷地に隣接して幼稚園を建てる場合の安全性。野球のボールが飛んできたりとか、サッカーボールが飛んできたりとか、そういうもし万が一事故に遭ってはというところもありますし、あと本当はあっては欲しくはないですけども、中学生による小さい子への危害とかそういうのも含めてやっぱり慎重にきちんと冷静に考えて進めていっていただきたいなと思います。</p> |
| <p>教育長</p> | <p>それでは、そのようなことをお受けしまして、次回の教育委員会議で結論を出していきたいと思いますが、事務局のほうでもし用意できる資料等ありましたら、新しい土地の写真なり、その敷地図あたりあれば助かるかと思しますので、そういうふうな敷地図を見せていただければと思います。よろしくお願ひします。</p> <p>それでは、これで16号議案を終わりにしまして、次に協議事項でよろしいですか。</p> |
| <p>教育長</p> | <p>協議事項についてですが、プールの改修について事務局より説明をお願いします。</p> |
| <p>教育総務課長</p> | <p>プールの改修についてということで協議事項として挙げさせていただきました。これから当初予算の要求時期になってまいります。それも踏まえて事務局内でもいろいろ検討が始まっているところではございますが、今中学校のプールについては全部バスで送迎して下根の運動公園のほうでプールに入ることで行っております。学年数も3学年でありますので、移動という形でやっております。今後、小学校のプールをどうするかというところが必ず問われてくるかと思ひます。やはり小学校のプールについても今比較的新しいところとしてはひたち野うしく小はもちろんですが、あと、つい数年前に改修した向台小学校、比較的新しい牛久第二小学校、その3校については当面大規模な改修はないと思ひます。それ以外の学校についてはいずれも老朽化が進んでいる状況です。この中で特に今問題になっているのは岡田小学校のプールで、これ</p> |

については今年度については運用を停止しまして、運動公園のほうに輸送してプールの授業を行っている状況であります。その次に古そうなのが奥野小学校です。これもやはり塗装等も傷んできておりますので近々改修かどうかということを追われてくると思います。牛久小も今のところ見た目にはまだそのほかの2校よりはましなのですが、やはりプール自体が46年経過しているという状況でございます。これらについて、仮に中学校と同じようにバスで輸送して運用するのがいいのか、それともそれぞれのプールで運用していくのがいいのかというあたりを単純に形式的な面からだけでは言えないと思うのですが、一つの目安として形式的な比較をさせていただいたのがこちらの表になります。

上のほうには、まず4行目に年間の維持費というものが書いております。私たちのうしく小だけは飛び抜けて1,640万円ぐらいかかっているのですが、これは年間通して行っているものですので、単純に学校だけの維持費という考えにはならないかと思えます。それ以外の部分については、学校の使用だけの維持費ということが言えるかと思えます。5行目以降は、過去10年程度の間に行ってきたプールにかけた色々な修繕とかそういったものの工事費関係、修繕費関係になります。

一番下のほうに整備の方向性ということで3つの選択肢が書かれております。プール自体一応40年ぐらいはもつかなという事務局側の考えでございます。仮に、全面的にやり直すということをお考えた場合には、2億円ぐらのお金がかかるのかなということですので、仮に40年で減価償却なり経費を割り振ってみると、大体1年当たり500万円ぐらいの償却になるのかなという考えでございます。

プールのリニューアルということが下にありますが、これは完全なプールの改築ではないのですが、コンクリート部分は残したままでそのプール槽の内側にFRPとかステンレスのものを入れまして、水槽自体を新しく、水槽のみを新しくしてしまうという工事でございます。これでいくと改築よりは安くて5,000万円ぐらい、4分の1ぐらいの金額でいけるのかなという。ただ、これについてはやはりコンクリート部分は古いままですので、30年というのは一応メーカーのほうで言っているものなのですが、正直その配管とかそこまでもつかどうかというのがあるかとは思いますが、一応30年で割り振るということを考えた場合に年間166万円ぐらいの経費という割り振りになっているかと思えます。

一番最後、3段目にバスの送迎ということがございます。これについては、ちょっと学校によってもかなり大小があるかと思えますが、仮に3クラス6学年ということをして5回、5回というのはプールの授業は基本的に10コマ・10時間あるそうですが、一回一回運ぶのでは効率が悪いので、通常移動しているときは2コマずつまとめて1回で済ませているということで、5回の移動で往復で済ませるといった場合に320万円ぐらいかかってしまうのかなというコストを比較しております。お隣に先ほどの維持管理費、改修工事費等を含めて

| | |
|---------|--|
| | <p>大体維持管理費が横並びで見ると100万円ぐらい、改修工事費をならして見るとそれも100万円ぐらいということで、合わせて200万という経費を加えてみた場合にプール改築の場合は年間700万ぐらい。本体をリニューアルした場合は、年間370万円ぐらいです。バスで送迎した場合は、年間320万円で、これは維持管理費がその学校はいらなくなるという考えで年間320万円というような経費が出るということで試算しました。</p> <p>それらを踏まえて、一応事務局内で話し合った中では、やはり学校が6学年あるということ、小学校の場合6学年あるということも考えてやはり移動というよりは、その各学校にリニューアルの方向性というのが一番妥当なところかなという話し合いもしたのですが、そのあたりについて一応教育委員会のほうとしての方針的なものをある程度示しておく必要があるのかなと思ひまして、今日はとりあえず検討課題ということで協議事項として挙げさせていただきました。</p> |
| 教育長 | <p>プールをつくり直すか簡単にリニューアルするか、バスで送り迎えするかという話なのですが、昨日も簡単に説明を受けたのですが、プール改築とリニューアルの違いを皆さんよく分かりますでしょうか。</p> |
| 石井職務代理者 | <p>リニューアルの経費を一応算定はさせていただいていますが、これでは配管の入れかえはしないということですか。</p> |
| 教育総務課長 | <p>必ずしもしないということではないのですが、もちろん不具合がある箇所についてはあわせてやる部分もあると思います。ただ、当然やればやるだけお金が余計にかかるということなのだと思います。基本的に、全部コンクリートを取っ払ってもう一回つくり直すということではなくて、今あるものはそのまま解体費はかけずにその上に膜を張ってしまうという考え方がリニューアルになります。</p> |
| 石井職務代理者 | <p>先般、岡田小のほうを視察させていただいたときには、プールサイドとか周辺のフェンス含めてかなり傷んでいたもので、本体だけで済むのかなという気もします。</p> |
| 教育総務課長 | <p>プールサイドも当然やり直す必要はあるかと思いますが、そのプールの状態にあわせてどこまでやるかというのはあるかと思いますが、基本的にそちらの写</p> |

| | |
|---------|---|
| | <p>真にもありますが、プールサイドもやった上で中をやるというパターンもとれますし、もしくはプールサイドはきれいだと思えば中だけやるという、もしくは配管も傷んでいるとなれば配管も一部やるということも考えられます。</p> |
| 石井職務代理者 | <p>プールサイドに草が繁茂している状態だったと思いましたし、シャワーもかなり傷んでいたように見えたので、やるとすれば全面改装が必要になってくるのだと思うのですが、コスト的に算定がこれで大丈夫なのかなという不安は若干あります。</p> |
| 教育総務課長 | <p>当然そういった項目を足していけば上がると思います。</p> |
| 芦田委員 | <p>ただ、やはり今現状を考えると中根小の数を移動させるのはすごく大変だと思います。だから例えば、中根小は直す、ほかの小学校はそれぞれの学校のを使う。あとは現場の先生方のご負担もありますよね。</p> |
| 教育総務課長 | <p>この移動というのも考えた場合にも、やはり下根自体もリミットがあると思いますので、小学校のプールを全てなくすということは絶対不可能で、二つずつ組み合わせてという考えが限界かなと思います。</p> |
| 芦田委員 | <p>ひたち野うしく小はそういう意味では通年使えますので、夏だけにこだわる必要はないでしょうから、もし直さずにといふのであればもうちょっと使ってもいいのかなと思います。ただ、もう一つ問題は直さないのであれば、今どんどん老朽化しているプールがそのまま負の遺産としてその場に残るわけで、それもちょっとどうかというのはあります。</p> |
| 教育長 | <p>今回、牛久一中の体育館建て替えに伴って、プールの解体をしていますが、あれはお幾らぐらいでやっているのでしょうか。</p> |
| 教育総務課長 | <p>1, 300万円代です。</p> |
| 教育長 | <p>そういうことは、どこの学校もプールを壊すとするとそれに近いお金がかかるということですよ。</p> |

| | |
|--------|--|
| 教育総務課長 | ほかの中学校もそのまま残っている状態です。 |
| 教育長 | 差しあたって中学校は壊すしかないでしょう。 |
| 教育総務課長 | 将来的にはなると思います。 |
| 教育長 | 今現実に何年も使っていない状況ですからね。 |
| 芦田委員 | 事故もあってはならないでしょうし、結構下根中の体育祭に行くとフェンスの隙間から小さい子供たちが入り込んだりすることもありました。 |
| 教育長 | 現場の先生方の意見も聞いてみるといいですね。 |
| 芦田委員 | そこが一番大事だと思います。 |
| 教育長 | そうすると、例えば校長先生にでもここに来ていただき、お話を聞いたほうがいいですか。小学校の校長先生あたりに来ていただくと現実がよくわかるでしょうから、そうした上で私たちも判断しないと、ただ現実のわからないままの判断になってしまうと思います。 |
| 芦田委員 | 中学校は多分今使っているのは、実質2年生までですよ。 |
| 教育総務課長 | バスで移動する量が、そのボリュームが全然違うと思います。 |
| 教育長 | ましてやそこに小学1年生が入るとなると、前後の時間が大きく掛かるということですよ。ぜひ次回に、現場の先生方に来ていただいてご意見もらうということで進めたいと思いますが、よろしいでしょうか。 |
| | <p>以上で、本日の議事は終了いたしました。10月の臨時会を終了いたします。</p> <p>次回の定例会は、現在日程を調整中です。日程が決まり次第、事務局より連絡します。よろしく申し上げます。</p> |